

第207回 深田研談話会

深田地質研究所では、「地質学およびその関連分野における先端的研究者と、地質・地質工学関係の、特に若手技術者との相互交流の場を設け、交流を通して応用地質学の実践と技術の向上を図る」ことを目的として、「深田研談話会」を開催しております。

斜面崩壊・地すべりの発生頻度

西山賢一氏

徳島大学大学院

社会産業理工学研究部 准教授

講演概要

斜面崩壊や地すべりの防災を考えるうえで、それらの土砂移動がいつ発生したか、さらにはどの程度の頻度で生じているのかを推定することが重要となります。講演では、2011年台風12号で深層崩壊が多発した紀伊山地（付加体と流紋岩）、2016年熊本地震と2012年九州北部豪雨で斜面崩壊・地すべりが多発した阿蘇火山（テフラと火山岩）、2018年西日本豪雨で斜面崩壊が多発した東広島市（花崗岩・流紋岩）・宇和島市（付加体）を例として、テフラや炭質物の放射性炭素年代測定にもとづき、斜面崩壊・地すべりの発生頻度を見積もる試みを紹介します。



2016年熊本地震で発生した高野台地すべりの全景。
約3万年前の草千里ヶ浜降下軽石付近をすべり面として、それより上位のテフラ・古土壌層が滑落した（2016年4月撮影）。

日時 2026年7月23日（木）

15:00～16:30【14:30 開場】

場所 深田地質研究所 研修ホール
& オンライン (Zoomウェビナー)

※会場とオンラインのハイブリッド開催

定員 会場参加: 50名 (先着順)
オンライン参加: 450名

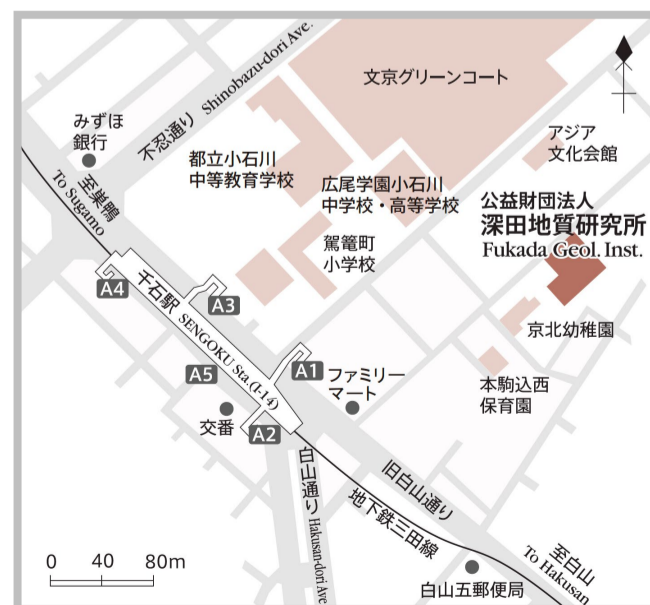
参加費 無料

CPD単位 「深田研談話会」は、CPD履修実績として申請できます（1.5単位）

参加ご希望の方は、必ず事前に深田研ホームページよりお申込み下さい。

申込み期間：2026年6月25日（木）～2026年7月21日（火）17:00（定員に達し次第締め切ります）

本イベントに関するお問い合わせ先: fgi_event@fgi.or.jp



都営地下鉄三田線千石駅下車A1出口より徒歩3分

公益財団法人 深田地質研究所

〒113-0021 東京都文京区本駒込2-13-12
TEL: 03-3944-8010 FAX: 03-3944-5404
<https://fukadaken.or.jp>

